

配転・出向・転籍

Contents

第1章 人事異動総論 1

- Q1 人事異動と法的規制 2
- Q2 人事異動と労働協約の人事協議・同意約款 9

第2章 配転・単身赴任 13

- Q3 配転の形態と法的性格 14
- Q4 配転命令と法的根拠 18
- Q5 地域限定等の特約と配転 21
- Q6 同一職種での長期勤務と特約の成否 23
- Q7 配転命令と権利の濫用 27
- Q8 配転とその必要性の程度・内容 33
- Q9 配転命令と不当な動機・目的 37
- Q10 配転・転勤と著しい不利益 42
- Q11 単身赴任をとまなう転勤命令の正当性 46
- Q12 ストーカー行為と配転 51
- Q13 心疾患等の既往症と配転等 56
- Q14 家族責任と転勤時の配慮 60
- Q15 育児休業からの復職配置 64
- Q16 女性労働者と広域配転 68
- Q17 コース別雇用管理制度と運用上の留意点 72
- Q18 ポジティブ・アクションとしての人事上の特別の配慮 79
- Q19 内部告発を理由とする配転命令 84

第3章 職種転換・降格・人事考課等 89

Q20	職種限定採用と職種転換	90
Q21	降格の種類と事由	95
Q22	人事考課による降格と賃金減額	99
Q23	職務内容の変更と賃金等級の引下げ	104
Q24	慢性疾患罹患者に対する降格	110
Q25	組織再編と降格的配転	114
Q26	使用者の公正評価義務	118
Q27	考課基準と結果の開示	124

第4章 出向 129

Q28	出向の形態と法的性格	130
Q29	出向命令と法的根拠	133
Q30	新設した出向規定の効力	138
Q31	二重出向（再出向）の可否	142
Q32	いわゆる「片道切符」の出向の法的性格	145
Q33	出向と労働者派遣の違い	149
Q34	出向と労働条件の低下	154
Q35	雇用調整型出向と法的効力	161
Q36	出向期間延長の可否	165
Q37	出向からの復帰命令と本人の同意	169
Q38	出向元・出向先の責任	173
Q39	出向労働者への賃金支払いの責任	178
Q40	出向労働者の時間外労働と割増賃金	182
Q41	出向労働者の昇給・ベースアップ	186